

一般会計

令和3年度

決算

「まちの家計簿」とも言える令和3年度の決算がまとまりました。町では、皆さんが納める大切な税金などを財源に各種事業を進めています。決算はその使い道を示すものです。一般会計と6つの特別会計の決算の概要をお知らせします。

・令和3年度山田町歳入歳出決算書から集計（四捨五入により合計が合わない場合があります）

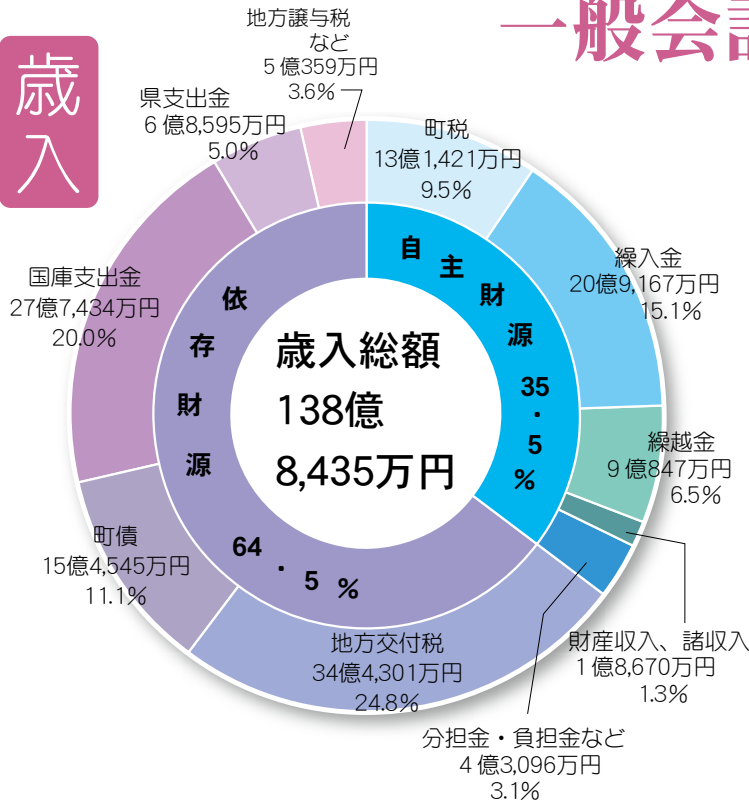
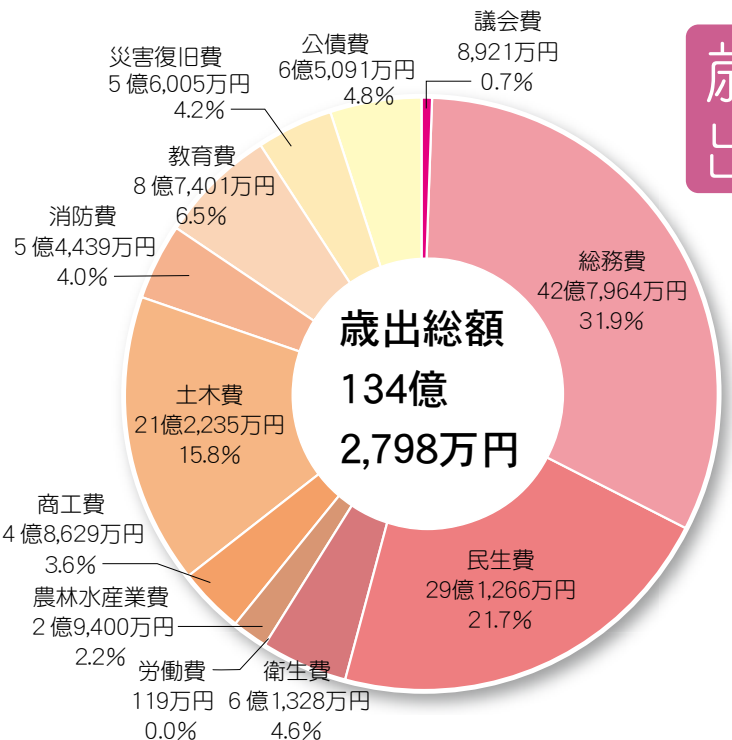
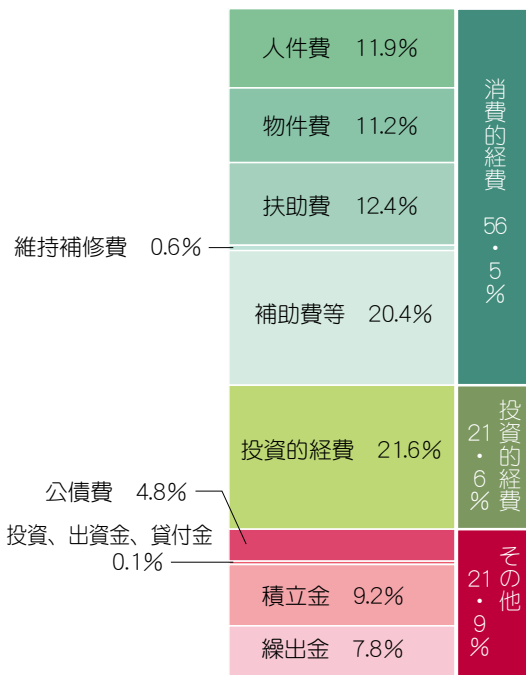


図1 歳出の性質別決算額構成比



歳出（町が各種事業などに使ったお金）の総額は13億4,279万8千円で、前年度より7.9%の増減でした。目的別に見ると、最も多く支出されたのが総務費で42億7,964万円、前年度比は59.9%の減。昨年度復興事業の精算に伴って生じた東日本大震災復興交付金の返還がおおむね完了したことで、本年度は大幅な減となりました。次に多いのは民生費の29億1,266万円、前年度比は21.7%の増減です。

歳入は総務費が6割減

歳入（町が各種事業などに使ったお金）の総額は13億8,435万円で、前年度より7.9%の増減でした。目的別に見ると、最も多く支出されたのが総務費で42億7,964万円、前年度比は59.9%の減。昨年度復興事業の精算に伴って生じた東日本大震災復興交付金の返還がおおむね完了したことで、本年度は大幅な減となりました。次に多いのは民生費の29億1,266万円、前年度比は21.7%の増減です。

一方、国や県から配分された補助金や町が資金調達のため政府や銀行から借りた町債などの依存財源の割合は64.5%となっていて、前年度と比べると比率は18.3%増えたものの、総額で9億6,048万円の減となりました。項目別では、地方交付税が最も多く34億4,301万円で、歳入全体の24.8%を占めています。前年度に比べて2億9,400万円の減、前年度比7.9%の減となっています。

令和3年度の一般会計の歳入（町に入ったお金）総額は13億8,435万円で、前年度比35.2%の減でした。町が独自に確保できる町税や繰入金など自主財源は全体の35.5%を占めています。

歳入は前年度比75億円の減



今年1月に完成した第7分団消防屯所

写真で見る 建設事業



道幅が狭かった織笠礼堂地区の道路を拡幅しました

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う必要がある場合に、一般会計と区分して経理をするため条例で設置を定めています。

特別会計で管理することで▶受益と負担の関係や事業ごとの収支をより明確にすることができる▶適正な受益者負担、事業収入の確保や歳出削減努力を進めることができる——などのメリットがあります。

本町の特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険(事業勘定)、介護保険(サービス事業勘定)、漁業集落排水処理事業、公共下水道事業の6会計です。

各特別会計の主な支出

- ▶国民健康保険 保険給付費15億5,307万円
- ▶後期高齢者医療 広域連合納付金1億7,528万円
- ▶介護保険(事業勘定) 保険給付費16億9,890万円
- ▶介護保険(サービス事業勘定) 居宅介護支援事業費294万円
- ▶漁業集落排水処理事業 大浦排水処理区事業管理費1,187万円、大沢排水処理区事業管理費2,372万円
- ▶公共下水道事業 処理場等維持管理業務委託料2,267万円、公共下水道山田管きょ詳細設計委託料773万円

◆特別会計の決算額

名 称	歳入決算額	歳出決算額
国 民 健 康 保 険	23億956万円	21億3,744万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億8,463万円	1億8,449万円
介 護 保 険 (事 業 勘 定)	19億3,661万円	18億2,242万円
介 護 保 険 (サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	477万円	383万円
漁 業 集 落 排 水 処 理 事 業	1億4,679万円	1億4,469万円
公 共 下 水 道 事 業	2億3,752万円	2億3,433万円

◆主な事業の決算額

(単位：万円)

議会費	議員報酬3,724 議会だより印刷製本費219
総務費	集会施設等エアコン設置工事費981 庁舎等冷房設備設置工事費2,456 小学校空調機器設置工事費7,678 定期路線バス運行事業委託料1,312 飲食店エールチケット事業費補助金2,755 新型コロナウイルス感染症対応プレミアム付商品券事業費補助金3,430
民生費	住民税非課税世帯等臨時特別給付金19,180 障害福祉サービス給付費41,623 老人保護措置委託料2,652 乳幼児児童生徒妊産婦医療費給付費2,841 子育て世帯への臨時特別給付金18,300
衛生費	定期予防接種委託料3,052 各種検診・健康診査委託料2,915 環境基本計画等策定業務委託料1,471 新型コロナウイルスワクチン接種委託料8,269
農林水産業費	農作物被害防止対策事業補助金290 いわて地域農業マスタープラン実践事業費補助金526 アワビ等種苗放流事業費補助金1,500 大沢川向漁村緑地広場整備工事費1,198 県営漁港整備事業負担金2,614
商工費	ふるさと納税返礼特産品代5,865 ふるさと納税推進業務委託料2,500 新道の駅実施設計業務委託料2,708 新たな観光拠点用地取得費11,600
土木費	町道維持補修工事費9,796 橋梁補修工事費18,275 豊間根地区排水路整備工事費13,775 織笠礼堂地区道路改良工事費8,068 準用河川女川改修工事費13,726 田の浜地区防災緑地公園改良工事費11,562
消防費	消防屯所建設工事費16,725(第2分団8,030、第7分団8,695) 第11分団消防ポンプ自動車購入費2,332
教育費	小学校費11,290 中学校費8,872 幼稚園費5,473 町民総合運動公園ラグビーサッカー場照明改修工事費2,640 旧大沢小学校解体工事費4,521
災害復旧費	林業施設3,414 土木施設48,771 公営住宅施設1,997
公債費	町債償還元金59,764 町債償還利子1,519

投資的経費5・5増に

66万円で、前年度に比べると16割の増となっています。これは、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による非課税世帯や子育て世帯を対象とした臨時特別給付金の給付事業などが盛り込まれたことによるものです。

一般会計の歳出を性質別に分けたものが2ページの図1です。

公共施設の建設や道路整備などに使われた投資的経費の割合は全体の21・6割で、前年度に比べると、5・5割の増加となりました。主な使い道としては、豊間根地区排水路整備事業の工事費1億3,775万円などがあります。消費的経費は56・5割、そのうち各種機関や団体などへの負担金、補助金を支出する補助費が20・4割で、前年度に比べ22・3割減少しました。

令和3年度は、感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな生活支援や事業者支援対策などに重点を置いた年でもありました。年々厳しさを増す財政状況の中、より一層の経費節減に努めながら、複雑多様化する行政需要に対応した町づくりが求められています。